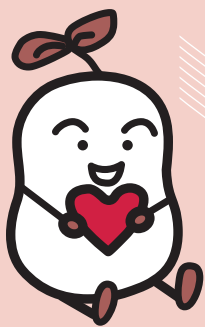


社協は地域福祉を推進する
社会福祉法人(民間団体)です。

〒167-0051
杉並区荻窪5-15-13
あんさんぶる荻窪5階
☎03-5347-1010(代)
e-mail
fukushi@sugisyakyo.com



杉並社協のマスコット
キャラクター「うるくん」

すぎなみ社協

No.141

広報紙「すぎなみ社協」は奇数月(5・7・9・11・1・3)10日発行です。
ホームページでもご覧になれます。http://www.sugisyakyo.com

主な記事

- 2面 ●すぎなみ地域福祉フォーラム 2010 報告
- 3面 ●地域福祉フォーラム 参加者からの声
 - 地域福祉活動費助成金のお知らせ
 - 成年後見センターからのお知らせ
- 4面 ●ささえあう地域福祉の輪

杉並社協 感謝のつどい

おとうと

山田 洋次
監督作品

〈出演〉吉永小百合 笑福亭鶴瓶 蒼井優ほか



©2010「おとうと」製作委員会

“家族の絆”や“人生とは”、“別れとは”何かを切々と問いかける
笑いと涙の物語です。見終わった後にはそれぞれの家族への
思いをあらたにすることと思えます。

【開催日】 平成23年1月28日(金)

○昼の部 開場 午後1時30分 開演 午後2時
内容 ①地域福祉協力者表彰式
②映画「おとうと」

○夜の部 開場 午後5時15分 開演 午後5時50分
内容 ①健康ミニ講座「座ってできるストレッチ」
②映画「おとうと」

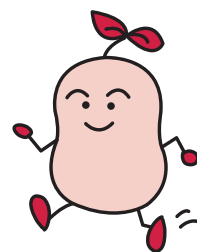
※各部の①では、手話通訳・要約筆記が付きます。
※各部の②では、手話通訳・要約筆記が付きます。

【会場】 セシオン杉並ホール(杉並区梅里1-22-32)

【参加費】 500円 ※賛助会員は無料です。
※当日賛助会員の申込みも受け付けます。

【定員】 各部500名(申込み順、定員になり次第、締め切らせていただきます。)

【申込み】 1月21日(金)までに総務係へ電話でお申し込みください。
☎03-5347-11010



日頃から、杉並区社会福祉協議会をご支援いただきありがとうございます。社協では皆様へ感謝の気持ちを込めて、「杉並社協感謝のつどい」を開催することになりました。今年度、地域福祉にご協力くださった方々の表彰や健康ミニ講座の後、ベルリン国際映画祭で、特別功労賞を受賞した山田洋次監督が手掛けた、映画「おとうと」を上映します。

新しい年を迎えて

杉並区社会福祉協議会 会長 高橋 新一郎



あけましておめでとうござい
ます。

区民の皆様にはお健やかに
正月をお迎えのことと存じます。
新しい年がまた始まりましたが、
毎年の一年々々を振り返ってみ
ると、どうも暗いニュースばかり続いているようです。世
界各地で見られる戦争・紛争、経済不況から来る倒産・失業。
超高齢者の所在不明問題やいじめ、虐待問題等々、やりき
られません。たまにオリンピックやノーベル賞などで国中が、
あるいは高校野球などで地域が盛り上がりつつも一過性に過
ぎません。なかなか一年を通して良かった、素晴らしいかっ
たという年は無いものです。モノが溢れているが、充足
感を得られぬほど人間が貧乏になっているのでしょうか？

人は自分の居場所があり、存在を認められて、初めて幸
せを実感することが出来ます。それは家庭でも職場、地域
でも同じことが言えます。自分がいて、他人がいてとい
う人と人とのつながりが、生活を楽しくさせ、人を成長させ
もします。その人のつながり、地域の絆(きずな)の希薄
さが幸せ感を薄めています。そのことを少し考えてみませ
んか、という趣旨で昨年の11月に杉並社協は「すぎなみ地
域福祉フォーラム2010」を開催しました。

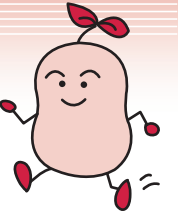
初回にしては大盛況でした。会場の「あんさんぶる荻窪」が、
お互いに支え合う地域づくりをめざす区民の方々でいっ
ぱいになりました。講演会の講師から「杉並からコミュニテ
ィの風が吹いている。」とお褒めの言葉もいただきました。
「地域福祉の推進」は、民生委員さんや町会自治会の役員さ
んにもお骨折りにいただいています。何と云っても一人ひと
りの区民の方々が主役です。社協も一生懸命お手伝いし
てまいります。

今年こそ幸せを実感できる年にしたいものです。そのた
めにも社協は皆様の役に立つ楽しい事業を計画していきま
す。今月には早速「杉並社協感謝のつどい」を開きます。
どうぞ大勢の方にお集まりいただきたいと存じます。

この一年が皆様にとりまして幸せな年になることを心か
ら祈念しております。



杉並から“コミュニティの風”が吹き始めた



平成22年11月7日(日)、あんさんぶる荻窪に於いて「すぎなみ地域福祉フォーラム2010」を開催しました。当日は、どんよりとした寒い一日でしたが、300人を超える大勢の方が参加されました。ありがとうございました。今回は当日の様子の一部をお知らせします。

講演会

「ささえあう地域をめざして」
『「近所の底力」にみる地域のつながり』

【講師】黒川 敬さん
(NHKチーフプロデューサー)

【参加人数】78人

【内容】NHK番組「難問解決」近所の底力」のチーフプロデューサーであった黒川敬さんから全国のお困り近所の解決事例や失敗事例を紹介いただき、会場の方々とその解決策について考え、今後地域活動に取り組む上でのヒントをたくさんいただきました。以下にその「妙案」と黒川さんからの応援メッセージを紹介します。



妙案・その一

“ピンチ”はチャンス
“全員賛成”はやめよう!
人材は“近く”にいる

妙案・その二

地域活動をやめたいと思った時、原点は何か思い出してみよう

妙案・その三

問題は意識して見ようとしないと見えない。意識することで問題解決の糸口がつかめる。特別なことではないのです。

☆せっかくなかまめめた企画が、たった一人の反対でやめてしまつたということは大変もったいない。失敗やリスクはどの活動にもついてまわるもの。見切り発進して、活動しながら徐々に理解しあっていけばよいのです。☆いつも会っている人とは違う人と話してみると、意外な突破口につながります。

☆一人で荷物(責任)を背負う必要はありません。うまくやらなければならない、絶対失敗できないとは考えないことです。☆地域活動を支えているのは、一人ひとりのボランティアです。皆さんの活動で、たった一人でも助かる人がいたらよいのではないですか。それこそが活動の原点です。

黒川さんから応援メッセージ

今までは地域に問題が起きると、行政や警察等に訴えておしまいでした。しかし、今やそれでは問題解決はできません。住民自身が問題解決に乗り出し、どんどん考えて、その上で行政等に協力してもらおうという形が主流になっています。今まさに、社会の仕組みが生まれ変わるうとしていっているのです。その風を感じたのは、番組を通じて最初に知り合った「杉並の皆様方」でした。杉並は日本一先に進んだフロンティアです。この杉並で吹いた「コミュニティの風」をどんどん他のまちへ伝播してほしいと思います。期待しています!

分科会1

「町会・自治会からの発信!」
「地域をつなげる底力」

町会長、障害者のグループホーム施設長から、地域での取り組みや課題についてうかがった後、参加者同士、地域に対する思いや人々をどうつないでいったら良いのかを話し合い、たくさん意見が出ました。「町会と関わっていない人は、地域と関わりがなく、孤立化する可能性がある。」「町会に入っていない人でも、関心はあり、知った顔を作りたい。でも、きっかけがない。」「もつと町会の必要性をアピールすべき。」「近所で見かける障害のある方にどうやって声をかけたらよいかわからず、接することができない。」……話し合いの中から、町会の活動を見える形にしておくことで、人が集まり、つながっていくのではないかと、様々な提案がされました。地域で活動している人もしていない人も、お互いに興味はあるが、歩み寄れていない現状が確認できたことで、今後、住民がつながっていく第一歩となったのではないのでしょうか。



分科会2

「杉並の“ほっとけない”を語り合おう」

困っている人のサインを見ても、どうしていいかわからないことや、気になって声を掛けても、どこまで関わればいいのか迷うことがあります。逆に関わりを求めない人が多いことや個人情報の壁など、実際には様々な課題もあります。「二歩間違えばおせっかいになる!それでもわたしは“ほっとけない”わ!!」「ほっといてくれ!」と言われると「じゃあ好きにすればいい!」と言いたいです。でもそんなことできないよね!」力強い言葉も飛び交った分科会でした。こんな熱い思いを持った人が暮らす杉並なら、壁を越える知恵や壁の穴探しなども出来るのではないのでしょうか。



分科会3

「子どもの育ちを地域でささえあう」
「こどもをささぐ」

「子どもの育ちを地域でささえあう」という掛け声に、10代から80代までの各年代が一室に会しました。「地域「世代交流」遊び「子ども」という4つのグループに分かれて語り合った後、発表。それぞれから「つながること、つながることの大切さ」「子どもを中心とした世代交流」「子どもの主体性の尊重」「知恵の共有・母親の支援」というキーワードが挙がりました。あつという間に過ぎてしまった子ども分科会。共に語り、考え、想いを分かち合うことができました。それにしても生き生きとお話をなさる皆さん。「ここから何か新しい活動が始まるのでは」という予感さえました。



分科会4

「杉並で暮らし続けたい」
「をかなえるチカラ」

「もし一人になってしまったら、あなたは誰を頼りますか?」一人でも生活できなくなってしまう時のことを全員でイメージをしながら、ささえること、ささえられることについて考えました。「まず人と関わること、声をかけ合うこと、地域に出ていくこと。」「地域で活動していたら、自分が困った時にきつと助けを求められることができる。」「個人でできる何かが、地域での取り組みにつながる。」「きっかけは何でもいい。今できることを、自分のできる範囲ではじめること。」と4人の語り手から熱いメッセージが送られ、参加者も一体となって、これからの「私」と「地域」について考えることができました。「地域とのつながりをつくっていくことの大切さがよくわかった。」「自分に何が出来るか探します。」との声とともに、「様々な制度をもっと広く区民に伝えていくべき」「個人情報保護が障害になつていけるのでは」等、新たな課題も上がりました。

だれでも映画館 「牛の鈴音」(韓国ドキュメンタリードラマ)

参加者の声

視覚障害の方にも情景がわかるように音声の説明があり、聴覚障害の方にも内容がわかるようにすべて字幕が付いたバリアフリー対応映画を上映しました。

こんな映画をいつでも、どこでも見られたら、住みやすい地域に一步近づくかもしれないと感じました。

私は視覚障害者です。内容がよくわかる映画でした。全ての映画がこういう形で鑑賞できるようになればよいと思います。

● フォーラムを終えて ●

今回、すぎなみ地域福祉フォーラムは初開催であったにもかかわらず、多くの方々にご参加いただき、地域に想いをはせる多くのアイデア、メッセージなど、皆さんから地域福祉を推進する“元気”をいただきました。

地域の中で起きている福祉課題を住民とともに解決していくために、一人の問題とせず地域みんなの問題として捉え、解決への手立てをみんなで考える。住民一人ひとりが、何ができるかを考える。そこから人はつながり、住みよい地域づくりへと発展していく。すぎなみ地域福祉フォーラムは、その一助となる場でありたいと考えます。

今回いただいたご意見や、見えてきた課題をどのように解決していくか、住民の皆さんとどのように考えていくか、社協が今後やるべきことなどを検討し、次につなげたいと思いますので、今後ともよろしくお願いたします。

「きずなサロン」「いきいき活動スタジオ&パネル展示」「無料写真館」



「これができるよ」と一しかけてください。」
「これから杉並区内で男性介護者の会を立ち

地域活動団体の協力を得て、〈出会いときっかけをみつける場〉を目指しました。当日、おかげさまで区内での活動情報があふれる、豊かな空間となりました。講演会や分科会の合間を縫って人が行き交い、お茶やおしるこを味わいながら、活動者との出会いを楽しんでいただけました。

上げます。男性特有の介護方法の悩みなどをもっている方が多いです。つながって安心して話せる場をつくりましょう。」などの応援メッセージをいただきました。
詳細は映像でご覧いただけます。
杉並TV
<http://www.ustream.tv/channel/suginamity>

◆参加者からの声
●各分科会とも参加者が大勢いて杉並の未来に希望が持ててよかったです。非常にいい企画だと思います。このような積み重ねが大事だと思います。●出席された方々の地域に対する取り組みの意識が高いのに驚きと感心をしました。●来年はテーマごとに、行政・企業・NPO・区民など、様々な立場の人が参加し熟議するような場もあるといいと思います。●などの発見と期待をいただきました。ありがとうございました。

詳しい報告書を杉並区社会福祉協議会ホームページ <http://www.sugisyakyo.com> に掲載する予定です。

ご存じですか? 成年後見制度

成年後見制度は平成12年4月のスタートから10周年を迎えました。この制度は、認知症、知的障害、精神障害等により判断能力が十分でない方の生活を、法律面や生活面で支援する制度です。

例えばこんな場合に、制度利用が考えられます

- 定期預金や高額な預貯金の管理が不安。
- 高額な訪問販売や住宅リフォームの被害にあって困っている。
- 認知症等病気が障害のため、定期預金の解約や生命保険の受け取りができない。 など

すでに判断能力の低下が見られる方につきましては、法定後見制度が利用できます。

法定後見制度とは、判断能力が十分でない状態の時に、ご本人や親族が家庭裁判所に申立てをして成年後見人等を定める制度です。判断能力に応じて「成年後見・保佐・補助」の3つに分かれます。

- 手続きについて：ご本人、配偶者、四親等内の親族等が必要書類をそろえ、家庭裁判所に申立てします。申立てから決定（審判）まで、約2～3か月かかります。
- 費用：申立て時に家庭裁判所へ支払う印紙代・切手代等が約1万円、鑑定が必要な場合は約10万円かかります。その他に診断書や戸籍・住民票等の費用も必要です。
- 成年後見人の主な職務：ご本人の意思を尊重しつつ、心身の状態や生活に配慮しながら財産を適正に管理します。具体的には、通帳や証書類を保管したり、福祉サービスの契約を行ったりします。また、定期的に家庭裁判所へ報告する義務があります。

杉並区成年後見センターでは、制度の説明、申立て手続説明等を行っています。申立書等もご用意しておりますので、ご質問、ご相談等がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

杉並区成年後見センター

杉並区荻窪5-15-13 あんさんぶる荻窪5階
☎03-5397-1551 月曜～金曜(祝日除く)8:30～17:00

平成23年度地域福祉活動費助成金のご案内

地域福祉活動費助成金は、歳末たすけあい運動の募金をもとに、地域で孤立・無縁状態の人をなくすため、地域福祉を推進する活動（事業）に助成します。

【対象団体】杉並区内で地域福祉活動を行っているか、又は活動開始を予定している民間非営利団体およびグループ。(営利、政治、思想及び宗教を目的とした団体は対象外となります。)

【対象事業】地域福祉活動を推進する事業で、特定の組織の会員、構成委員等に限定されない発展性のある事業。

【助成対象期間】平成23年4月1日(金)から平成24年3月31日(土)に実施する事業

【助成の種類と助成上限額】(総額：500万円)

- ①チャレンジ応援助成(予算)1事業上限50万円 ※定例化している事業は含みません。
 - ・新規活動の立ち上げ
 - ・先駆的活動
- ②定例活動活性化助成(予算)1事業上限20万円
 - ・既存の活動を活性化するための事業

【申請書の配布】平成23年2月1日(火)から

【申込方法】窓口へ持参

【申請締切】平成23年3月4日(金) 午後5時まで(時間厳守)

【問合せ】杉並ボランティア・地域福祉推進センター ☎03-5347-3939

講演会

杉並区成年後見センター・杉並区社会福祉協議会共催

「高齢者や障害者のための財産管理」

「誰もが、より充実した人生を送るための暮らしの法律知識」

「将来認知症になったとき、預貯金や不動産の管理など、自分の財産が守れるか心配」「障害のある子の将来の生活について、今考えておくことは？」

経験豊富な弁護士から、自分らしく豊かな人生を、安心して送るための法律知識を分かりやすくお話しいただきます。

日時：平成23年1月27日(木) 午後2時から午後4時まで
場所：あんさんぶる荻窪 4階 第1・2・3教室

講師：弁護士 額田 洋一氏
費用：無料
定員：60名

(申込み順。定員になり次第、締め切らせていただきます)
申込み・問合せ：杉並区成年後見センター
☎03-5397-1551

ささえあう 地域福祉の輪



「オレンジボード」

安心して住める街づくりを目指して

JR中央線西荻窪駅の改札口を北に出てバス通りを左に向かうと、すぐにオレンジ色の看板と、不動産屋とは思えない明るいガラス張りの店舗がありました。

「株式会社オレンジボード」では、安心して住める街づくりを目指して様々な活動を行っています。和太鼓のチームを作り地域の祭りやイベントで演奏したり、荻窪消防団に入団して活動したり。なぜそのような活動に繋がったのか、店長にお話を伺いました。

地域とのつながりを大切にしています

オーナーの方針で社員の皆さんは全員杉並在住。採用されると杉並の住宅に転居してもらっています。それは、「地域密着型の不動産屋さん」を目指すという側面もありますが、何より「地域を知り、活きた生活情報をお客様にお伝えしたい」というところにもあるようです。街の方々には「オレンジボード」「オレンジの人」と声をかけ

られるそうです。

和太鼓で祭りを盛り上げる

オーナーはお囃子をやっていた関係で、太鼓にも興味を持ち、昭和60年「大江戸助六太鼓」の太鼓道場に通い始めました。同時に地域の祭りやイベントに参加したいという思いから、社内に太鼓クラブチーム「華鼓(はなこ)」を結成し、活動しています。練習は、仕事が終わってから地下の会議室で週3回。新入社員さんは、びっくりされるのではないかと聞きしたところ、「採用面接の段階で、太鼓のことや、杉並に住むことなどは説明を受けていたので、大丈夫でも、週3回とは思っていませんでした。空いているため、町内会の集まりやグループでの活動にも貸出しているそうです。



「町の人から相談を受けることで人の出入りが増え、さらには仕事にもつながり、また街との関係が膨らんでいっています。そして達成感も感じるようになった。」

「これからも、活動を続けながら、地域の皆さんが気軽に立ち寄れる、そして頼りになるオレンジボードでありたい」と力強く語られました。

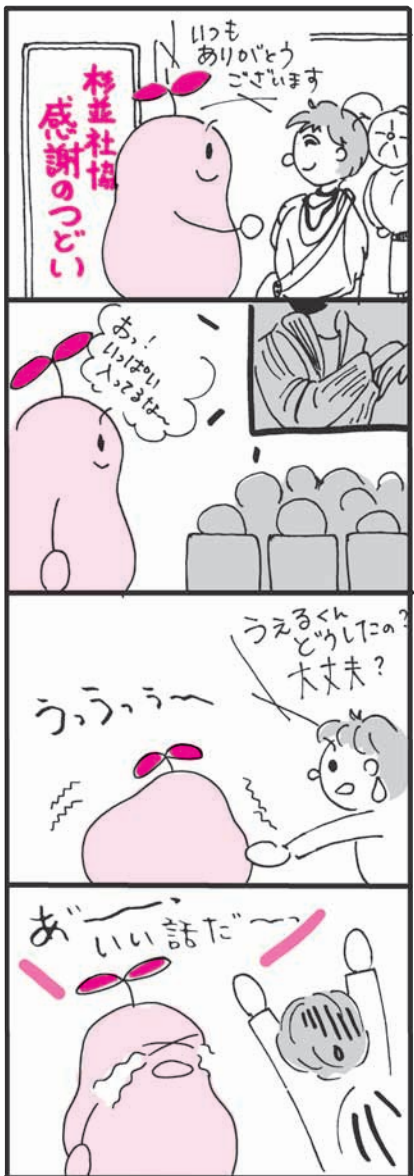
活動していて良かったことをお聞きしてみました。

「仕事では出会えない人に出会うことができる。」「仕事抜きに楽しい関係ができていく。」「街の人から声をかけられると必要とされていると実感する。」「まだまだ沢山出てきましたが、苦に思われたことはない

【問合せ先】株式会社オレンジボード
e-mail: orangeboard@nifty.com
03-5347-1010

情報をお寄せください。社協では、地域福祉の輪に掲載する団体やグループの情報を募集しています。皆さんの地域で、地域福祉活動をしている団体などがありましたらお知らせください。連絡先：総務係

うえるくん〈28〉 感謝のつどいの巻



うえるくんは地域福祉活動の種。彼の名前には、その種を「植える」、福祉を意味する「ウエルフェア」、皆さんと一緒にという気持ちをあらわす「ウエルカム」の3つの想いがこめられています。

ありがとうございました

●●●●● 寄附者名簿 〈敬称略〉 ●●●●●
(平成22年10月1日～平成22年11月30日まで)

〈団体〉

- ゴルフ教育研究会 ¥20,000
- 杉並民踊舞踊連盟 ¥108,864
- 高井戸地域区民センター連協OB会 ¥10,000
- NPO法人日本入れ歯リサイクル協会 ¥44,141
- 桜上水商店睦会 ¥7,401
- (株)FFS味噌一高円寺店 ¥20,000
- (株)FFS味噌一荻窪店 ¥20,000
- 杉並区新聞販売同業組合 ¥50,000
- 和田商栄会フリーマーケット部 ¥37,974
- 日本イエス・キリスト教団荻窪栄光教会 ¥30,000
- 社団法人 荻窪法人会青年部会 ¥84,267

〈匿名〉

3件 ¥398,178



今回は、11月に開催した「すぎなみ地域福祉フォーラム2010」の様子をお伝えしましたが、いかがでしたでしょうか。多くの方のご参加とご協力で、有意義な時間を持つことができました。来年は、皆さまもぜひご参加ください。(poko)

賛助会員 協力をお願い

杉並区社会福祉協議会は、住民会員制度に支えられた民間の福祉団体で、地域の福祉課題の解決に取り組んでいます。

杉並をよりよいまちにしていきたいため、皆様の賛助会員としての入会をお願いいたします。

賛助会員会費 個人会員 年額 1,000円～

その他 施設、団体、地域、企業会員があります。

入会方法 杉並社協の窓口でお申し込みいただくか、ご連絡いただければ郵便振替用紙を郵送いたします。

また、民生委員さんを通じてもご入会いただけます。

問合せ 総務係 ☎03-5347-1010

広告募集!

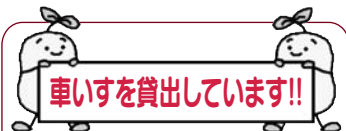
広報紙「すぎなみ社協」に掲載する広告の募集をしています。

「すぎなみ社協」は奇数月の10日に、各回200,000部発行し、新聞折り込みで全戸配布をしています。

募集枠は、80mm×80mm、80mm×160mm、80mm×240mmのいずれかです。

詳しくは総務係までお問い合わせください。

☎03-5347-1010



区内在住で、車いすを短期間使用したい方にお貸ししています。

例えばけがをしたり、通院や散歩、行事に参加したい時など、是非ご利用ください。

詳しくは、下記までお問い合わせください。

杉並ボランティア・地域福祉推進センター ☎03-5347-3939

私たちは杉並の地域福祉活動を応援しています。

高齢者食・介護食・各種治療食配食サービス

あなたの健康は、おまかせ下さい

材料にこだわった手作りの味を是非お試し下さい

昼食 860円

夕食 1,020円

ごはんやおかずの調理方法を体調に合わせて変更できます。また、普通食・加糖・加塩・加たんぱく質・塩分調整食・リカラム調整食・脂質調整食などお体の状態に合わせてお選び頂けます。繊維質や香料を抑えた消化の良い柔らかめの軟食もお届けします。まずはお電話でお問い合わせ下さい。

美味しさとカロリー・栄養バランスを考えた手作りのお食事をお届けします

資料請求はこちらまで

お元気宅配株式会社 TEL 03-5370-6288

東京都杉並区南荻窪1-6-11

DUSKIN 50歳～60歳代のスタッフが多数在籍

シニア ケアスタッフ募集

お食事づくり 散歩の付き添い

簡単なお掃除 お買物 お見守り

資格 ●資格不要、年齢65歳まで
給給 ●850円～ 昇給制度あり
時間 ●ご都合の良い曜日・時間に勤務可能
待遇 ●通勤費全額支給、ボーナス制度、未経験の方への教育プログラム有り
勤務地 ●杉並区とその周辺 お客様宅へ直行・直帰
初回サービス時にはオフィススタッフが必ず同行
応募 ●まずはお気軽にお電話ください
受付時間 ●9:30～17:00 (土日除く) 担当 越川
ダスキンのシニアケア ホームインステッド荻窪ステーション
☎0120-294-360
〒167-0051 東京都杉並区荻窪3-47-24 FAX.03-3398-7717

遺言などの身近な相談窓口

遺言、尊厳死、任意後見など各種契約書の作成
定款、外国向け文書ほかの認証など

公正証書に関する相談は無料です。
お問い合わせは電話でどうぞ!

JR、地下鉄丸ノ内線 荻窪駅南口前

杉並公証役場

杉並区荻窪5-27-6 (中島第1ビル6階)
TEL: 3391-7100 FAX: 3391-7103